

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年9月7日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから9月7日の原子力規制庁、定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。お手元の広報日程に沿いまして、御説明をいたします。

まず、明日の委員会、定例会の議題は4つです。

議題の1つ目、放射線安全規制研究戦略的推進事業の事後評価ということで、この事業の中で行っている研究課題のうち、昨年度に終了した6つにつきまして、6月の研究評価委員会で行った評価結果、これを報告するとともに、その研究成果を今後どのように活用していくかについての対応方針を諮るというものでございます。

次、議題の2つ目、今年2月の福島県沖地震を踏まえた耐震設計における地震動と適用の考え方ということです。

こちらは、7月7日の委員会で一度議論したものの2回目ということになります。

前回出た宿題と、あとは東京電力から意見を聞くようにということで、東京電力から提出された意見を踏まえまして、耐震クラス分類と地震動の適用の考え方を整理した文書を諮るというものでございます。

次に、議題の3つ目、原子力規制検査で深刻度「SLIV（通知あり）」と評価した事案に関する報告というものです。

こちらは、新検査制度における検査気付き事項、これは委員会に適宜報告をしておるわけなのですが、その累計として、新しく深刻度SLIVで、その旨を事業者に通知するという類型を設けまして、今回、その類型として2つの案件の報告を行うということになります。

2つというのは、具体的には伊方発電所における宿直中の無断外出の件と、日本核燃料開発における火災報知設備の点検の未実施の2件ということになります。

現状では検査気付き事項、指摘事項は、四半期ごとに報告するものと、委員会でその重要度とか深刻度を了承を受けるといった重要なものと二段階ありますけれども、その中間的なものとして、四半期は待たないで委員会に報告するけれども、重要度とか深刻度を委員会に諮るというものではないといった、そういう位置付けのものとして報告するというものでございます。

次、議題の4つ目、今年度の第1四半期における専決処理の報告ということになります。

これは定例で四半期ごとに行っているものであります。委員会としての決定を長官までの決裁で専決処理したものを事後報告するものでありまして、12の累計の手続の計115件が処理されていますということが報告されます。

次、(2)、明日は非公開で臨時会議もごございます。

議題は2つです。

1つ目が、核物質防護措置のうち、情報システムセキュリティに関する部分の審査基準に対する事業者からの意見と検討の進め方ということになります。

こちらは情報システムセキュリティについて、新しく規制要求をするという方針にしておりますけれども、これは4月20日の非公開の委員会で、改正概要を了承を受けまして、事業者からの意見を聞くようにということで、その後、事業者からの意見の聴取を行ったところであります。その意見について報告をして、今後の対応方針を諮るというものであります。

次、議題の2つ目、不正アクセス事案に関する報告ということになります。

昨年の10月に原子力規制委員会のネットワークシステムに不正な通信が検出されたという件がございましたけれども、その調査結果について最終的な報告を行うというものであります。

そのほか、審査会合、会見などについてということで、ページをめくりまして、2ページ目の一番下、9月13日、第414回核燃料施設等の新規制基準適合性に関する審査会合ということで、こちらの議題は、三菱原子燃料の加工施設の保安規定についてということで、8月2日の審査会合で出されたコメントへの回答などです。

次、3ページ目に参りまして、(7) 第93回特定原子力施設、これは1Fですけれども、その検討会ということです。

議題は、1つ目がALPS処理水の検討状況ということで、ここで特に新しい話が出るわけではなくて、既に公表済みの海底トンネルを通じた沖合への放出という方針を改めて説明するというものになります。

2つ目は、福島県沖地震を踏まえた耐震設計における地震動と適用の考え方についてということで、先ほど明日の定例会の議題でこの案件を説明したかと思っておりますけれども、その委員会での議論の結果を説明するというものになります。

次、9月14日の(8) 東京電力福島第一原発の事故分析検討会です。

議題は2つありまして、1つ目が、中間取りまとめへの事業者の見解の聴取です。

7月の中国電力に続きまして、今回が2回目の意見の聴取ということになりまして、今回は東北電力と日本原燃です。

2つ目の議題が、シールドプラグと建屋内調査の状況の報告ということになります。

そのうちシールドプラグにつきましては、今週の木曜日、9日に現地調査を実施する予定になってございまして、その動画を10日金曜日の夕方にYouTubeで公開する予定にな

っています。素材の提供を希望する社は広報室まで御連絡をいただければと思います。

これはシールドプラグに既に開いている穴、コアサンプルを取った穴が開いているのですけれども、そこにロボットを使って線量計をさして測定するといった調査になります。

最後、3ページ目の一番下でありますけれども、IAEA ALPS処理水レビューに関する会合ということで、ALPS処理水に関するIAEAのレビューに先立ちまして、今週、IAEAの関係者が来日して、関係者と意見交換及び現地視察を行うということになっております。その一環として、今日、更田委員長との意見交換が行われております。取材対応は特になしということになっております。

こちらからの説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—